

# 栗の木の下で・・・

R6・9・30（月）佐藤菜摘



今日も子ども達は外に出ると、「栗あるかな〜？」と雑木林へ・・・夢中になって、栗を拾う子ども達。今日も大量に採れました！栗拾い名人になった子がたくさんいて、頼もしいです！当初、恭一郎くんがみんなに栗拾いの楽しさを教えてくれましたが、今日は、杜和くんがこあら組の俊介くんに教えてあげていました。



こんなにいっぱい  
とったよ〜！

## すると・・・



木の穴の中に何かを発見した恭一郎くんと俊介くん。棒でグリグリ掻き出そうとしていました。秀太くんと恵亮くんも集まってきて、いろいろな角度からのぞくと、「あれ？虫の幼虫じゃない？」と、「もしかしたら、白いからクワガタの幼虫かもしれないね」と言い、棒を捨て「かわいそうだからそっとしておこう」と、話し合っていました。拾った栗を入れておこうかということで、栗を一つ穴に入れました。



その様子を見ていた、蓮ちゃん。きれいな葉っぱを持って来て、「寒くなったら大変！この葉っぱをドアの代わりにするんだと言って、そっと置いていました。優しいなあ・・・穴の中にいたのは幼虫なのかははっきりわかりませんが、みんなで話し合い、どうすべきか自分なりに考える姿に感心させられました。栗拾いをしないと、見る事ができなかった子どもたちの姿でした。